

大和歴史散歩 ④9

松村 光庸

能・狂言発祥の地

―観阿弥、世阿弥と結崎―

芸能の歴史において、庶民に愛された文楽や歌舞伎とは異なり、高尚な趣があつて武家の嗜み(たしなみ)とされた能楽(能・狂言)が、私たちの郷土・大和国から発展した点については余りよく知られていません。

南北朝内乱期から室町時代にかけて、「大和猿楽四座」(宝生、観世、金剛、金春)と言われた芸能者集団が大和盆地の各地に成立し、興福寺、春日大社などの寺社の仏事や神事において、演技による活発な奉仕活動を展開していました。具

体的には、外山(とび 桜井市)の「外山座」を源流とする「宝生」、結崎(ゆうざき 川西町)の「結崎座」を源流とする「観世」、法隆寺に仕えた「坂戸座」(さかどぎ 斑鳩町)から始まる「金剛」、興福寺で最初に「薪能」(たきぎのう)を演じたとされる「円満井座」(えんまんい座 奈良市)から始まる「金春」の「申楽」(猿楽四座)です。元来、「翁」(おきな)の面を被つて舞う「翁舞」から始まった猿楽は、「物まねの芸」を通じて写実性を強め、次第に「滑稽」や演劇的要素を加えて、「仮面劇」としての能・狂言へと発展していきました。この猿楽から芸術性の高い洗練された今日の能楽への発展に最も貢献したのが、結崎の観阿弥清次と世阿弥元清の父子でした。

観阿弥、世阿弥は大和に止まることなく京都に進出し、室町幕府の三代将軍・足利義満の庇護を受けて、泥臭い民衆的な猿楽を貴族化した上流武家の芸能へと昇華させました。また一方で、田楽とともに大流行した猿楽は、京都の四条河原に棧敷を設けて「勸進能」を催し、貴賤を問わず観客から金銭を取つて、日本の歴史上で最初のプロの演劇集団として活躍することにもなりました。

この夏の猛威には本当に驚き、今年が特別ではなく、今後日本や世界の気候はどのようにすすんでいくと。快適に生活していく事が、精神面、身体面でも困難になっていく世の中ですね。これから生きざる若者、子どもに我々が少しでも貢献しないとなあと思つ日々です。

こうした観阿弥、世阿弥に関わる少しばかりの痕跡を大和盆地の中心部にあたる川西町と田原本町に訪ねることが出来ます。近鉄京都線の結崎駅にほど近い寺川の河畔にある「面塚」(観世流二十四世・観世左近氏の揮毫による石碑)がその一つです。「結崎」という由緒ある地名が残っていることから、も明らかのように、この周辺が観阿弥、世阿弥の結崎座が存在したところと推測出来ます。もう一つは、同じく

近鉄京都線笠縫駅下車で、田原本町の東南部、橿原市、桜井市に近い味間(あじま)の集落にある「補嚴寺」(ふがんじ)という曹洞宗(禪宗)の寺院です。補嚴寺は興福寺に仕えた大和武士・十市氏の菩提寺でしたが、ここに残された「補嚴寺納帳」には世阿弥とその妻の法名が記されており、世阿弥夫妻が禪宗に深く帰依して、この寺で得度したとされ、観世流の能楽が禪宗の強い影響を受けていたことを示しています。

いずれにしても、土着性の強い「民衆の芸能」であつた猿楽が、次第に上流武家の貴族性を帯びて能楽へと融合、変化していった緊張感の中に、芸術性の源泉があると思われ。一度、観阿弥、世阿弥の足跡を訪ねてみてください。



雑学

今年猛暑で入浴はシャワーですましていたのですが、日中エアコンの効いた室内にいと夜に足の冷えを感じバスタブに浸かるようになっていくのがわかります。

(喜多典子さん)

介護豆知識を読んで筋肉量と代謝の関係が良くわかりました。タンパク質の摂取を心がけ、毎日の筋トレを始めてみようと思ひました。

(青山博さん)

この夏の猛威には本当に驚き、今年が特別ではなく、今後日本や世界の気候はどのようにすすんでいくと。快適に生活していく事が、精神面、身体面でも困難になっていく世の中ですね。これから生きざる若者、子どもに我々が少しでも貢献しないとなあと思つ日々です。

(花水木さん)

いつも楽しみにしています。「食べて元気」のレシピを参考にすることが多いです。サシマ缶炊き込みご飯もつくりました！

(坂井幸子さん)

その季節に気をつけることや大切な事が書いてあり、とても役に立っています。頭の体操にはじめてクイズに参加しました。

(浅沼達雄さん)

この度ヘルスチャレンジ「肝臓いたわりコース」に参加しよう、自分のペースで頑張ります。「有言実行」(笑)

(三木洋一さん)

虎列刺(コロシロ)について身近な所に史料が残っていること知り、興味深かったです。

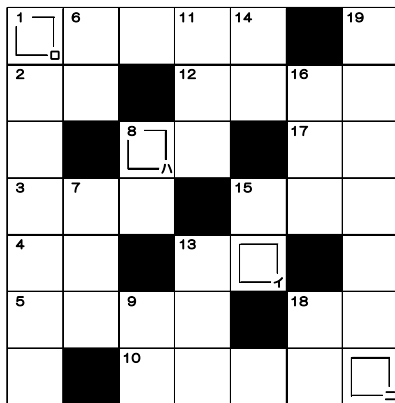
(きみね(ちゃん)



カギを解き、二重ワクに入る文字をイロハ順に並べて言葉を作ってください。

タテのキー

- 義務教育の後半3年間
- 幸せの青い〇〇
- 移り動くこと
- 〇〇せぬ出来事



ヨコのキー

- 七五三の飴
- 香りの強いラップ型の花
- 室内に籠もっていたので久しぶりに――に触れる
- その度(ごと)。
- 木々が鮮やかに色づく
- 立すいの〇〇もない
- 如意棒を持ち筋斗雲に乗る
- 11月23日――感謝の日
- 〇〇なり小なり
- 〇〇は〇〇、うちはうち
- 何も建っていない土地
- ノック――、コスト――
- うどんや蕎麦、ラーメンなど
- いつも 〇〇朝、〇〇日
- 屋根裏部屋
- 早起きは三文の〇〇
- 愛知、岐阜、三重、静岡

無料 法律相談

実施日：(毎月第1木曜)
11月5日、12月3日(木)
 午後1時30分～
 やまと法律事務所の
 弁護士が担当します。
 ※必ず事前にお申し込み下さい。
 (ご相談は3回まで)
☎0745(22)2989

健康チェック一部再開

長らくお休みしていた健康チェックですが、左記の4ヶ所から再開します。

- *天神橋筋商店街 第1火曜 10時
- *コスモスプラザ 第2火曜 14時
- *上牧片岡台団地 第1金曜 10時30分
- *葛城市相撲館 第4土曜 10時

その他の場所は、開催が決まり次第、紙面でご案内します。

皆さんのお越しをお待ちしています。

- 15 町火消が用いた旗印
 - 17 ヒレは中華料理に
 - 18 「国破山河在」の詩人
- 同封のがき、または官製のがきに答えてご住所・お名前・匿名を希望される方はペンネームを書いてご応募下さい。また、ご意見・感想もお書添え下さい。
- 抽選で5名様に図書カードが当たります。応募締め切りは11月30日です。191号の正解は【ヒガンバナ】でした。当選者は左記の方々です。
- 第191号(応募81通、正解81通)
- ・上田全克様
 - ・げがん様
 - ・小泉加代子様
 - ・中村武司様
 - ・増田和美様